

彩の国オールラインナップ 2011-2012 発表!

PLAY

Shochiku Grand Kabuki
Shintokumaru
Antony and Cleopatra
Saitama Gold Theater Vol.5
Saitama Next Theatre Vol.3
Sainokuni Saitama Yose
(Rakugo:traditional comic story talking)



Saitama Arts Theater



All Lineup 2011-2012



彩の国さいたま芸術劇場をご利用
 いただくお客様にとって、より快
 適な環境を目指して、現在改修工
 事を行っております。全館改修後
 は新たな時代の要請に応える劇場
 施設で、パワーアップしたライン
 ナップを取りそろえてお目にかか
 ります。ご期待ください。

INDEX

ESSAY

さいたまネクスト・シアター 第2回公演
 『美しきものの伝説』 — 松井 周 03

SPECIAL

彩の国のラインナップ2011-2012 04

【演劇ラインナップ】身毒丸／アントニーとクレオパトラ／

さいたまゴールド・シアター&さいたまネクスト・シアター 06

【ダンスラインナップ】ジェローム・ベル／ヤン・ファーブル／

日本昔ばなしのダンス／コンドルズ ほか 09

COLUMN

アーティストの創作のひみつ — 岩松 了 12

REVIEW

2011.1-2月の彩の国のアーツ 13

MUSIC

埼玉会館 NHK 交響楽団演奏会

神尾真由子インタビュー 14

MUSIC

ファミリー・コンサート花盛り

音楽の絵本／夏休みオーケストラ！／

宮川彬良&アンサンブル・ペガ 16

EVENT CALENDAR & TICKET INFORMATION 17

THEATER BRIDGE 19

表紙：(時計まわり)「プロメテウスの風景Ⅱ」Photo:Wong Bergmann 「聖地」Photo:宮川舞子 「The Show Must Go On」Photo:Mussacchio Laniello 「小曾根 真の現在 Vol.1」Photo:加藤英弘 裏表紙：(時計まわり)「へっこきよめ」Photo:Arnold Groeschel 「美しきものの伝説」Photo:宮川舞子 「小曾根 真の現在 Vol.2」Photo:加藤英弘 「ねずみのすもう」Photo:Arnold Groeschel 「ロングバケーション」Photo:池上直哉 編集:佐藤 優 デザイン:Yellownotes inc.
 © (財) 埼玉県芸術文化振興財団 Published on 15. March 2011 All Rights Reserved by Saitama Arts Foundation
 ※掲載情報は、2011年3月5日現在のものです。公演は追加および一部変更される場合がありますので、ご了承ください。



【作】宮本 研 【演出】蛭川幸雄 【出演】さいたまネクスト・シアター/原 康義 横田栄司 飯田邦博 12月16日(木)~26日(日) 彩の国さいたま芸術劇場 インサイド・シアター (大ホール内) © 宮川舞子

さいたまネクスト・シアター 第2回公演 『美しきものの伝説』 2010年12月24日

松井 周



まついしゅう◎1996年、劇団青年団に入団後、作家・演出家としても活動を始める。処女作『通過』、2作目『ワールドプレミア』が日本劇作家協会新人戯曲賞受賞。2007年、劇団「サンプル」結成。フェスティバル/トキヨ109春・秋に参加。10年にはさいたまゴールド・シアターに戯曲「聖地」を提供。今年3月にサド、4月にドイツ戯曲「文学者たち」のライティング公演を行い、7月三鷹市芸術文化センターにて新作「アヘナにて」を上演予定。「百鬼の息子」で第55回岸田國士戯曲賞を受賞。

演出家の役割って何だろう？『美しきものの伝説』を観た後、しばらくそればかり考えていた。大正期の若者たちを題材にした1968年の戯曲を演出するにあたって、例えば、大正期のセットを組み、古典としてただ立体化しようとするのも、現代的な冷めた視点で過去を振り返るようなことも出来ただろう。しかし、どちらを選んでもそれは私たちから距離がある。どうしても舞台上の時間が「あの時代」として括られて退屈がられる可能性がある。

蛭川さんは明確だった。舞台上に死者と生者が交わる場所を作ったのだ。開演直後、覆われていた黒い幕があがると、そこには長い通路が奥まで続いていて、向こうから若者たちがゆっくりと歩いてくる。近付くにつれて、彼らがそれぞれ移動式の水槽を手で押しているのがわかる。その水槽の中には身体を丸めた老人たち（お世話になったさいたまゴールド・シアターの面々！）が青白い光に照らされて横たわっていた。

まるで棺で眠る、「かつて若者であった死者」と棺を運ぶ「死者の言葉を代弁しようとする若者」とも取れる人物たちの交錯する空間に放り込まれたように思った。老人であり、若者。その逆でもある。私たちは舞台上の彼らを私たちとは無関係の人物だと言い切る自信がない。戯曲上の人物たちは私たちの前に生まれ、生きて、死んだ。そして私たちもいずれそうなるという事実が突きつけられる。だから私たちは彼らの言葉に耳をすまわずにはいられなくなる。

舞台が進行しても水槽は舞台上に残り、シーン毎に異なる小道具などが置かれていた。例えばそれが本であったとしても、まるで博物館のケースに並べられた文書のように見えて、絶えず死のにおいが消えない。

どうしてだろうか？水槽があるだけでいつでもそこから死者が召還される気がしてならない。死者に鞭打って芝居をさせているとしたら何と不謹慎なことか！と、そんな妄想をしたくなるほど水槽が素晴らしい。舞台上の出来事と観客との距離を一瞬で埋めてしまう説得力のあるアイデア。いや、単なる水槽ではない。それは棺であり、陳列ケースであり、死者の世界と繋がる何かだ。つまり、舞台上の世界と観客を結びつけたのは、水槽そのものというより、私たちが普段忘れていたかもしれない死者の世界とつながっている。

2011初夏から2012春へ 彩の国のオールラインナップカレンダー

Saitama Arts Theater・Saitama Hall・Kumagaya Hall

※2011年3月5日現在の情報です。やむを得ぬ事情により、変更となる場合がございます。あらかじめご了承ください。※公演情報の詳細、彩の国シネマスタジオ情報は、「埼玉アーツシアター通信」、ホームページ等で順次お知らせいたします。

2011 5 May 6 June 7 July 8 August 9 September 10 October 11 November 12 December 2012 1 January 2 February 3 March

PLAY

夏の熊谷恒例の松竹大歌舞伎に始まり、シェイクスピア、藤原竜也以来13年ぶりとなるオーディションを行った伝説の舞台、鬼才の劇作家による書き下ろし、さらには寄席の世界と、古今東西の多彩な演目をほぼ月替わりで上演。いずれも見逃せない傑作・秀作ぞろいです。



7.15(金)
松竹大歌舞伎
「梶原平三嘗石切」
「河内山」

8月
彩の国さいたま寄席 四季彩亭
～彩の国落語大賞受賞者の会



8月下旬
身毒丸
「身毒丸」復活(2008年)
photo:Shunichi Takashima

10月上旬
彩の国シェイクスピア・シリーズ 第24弾
「アントニーとクレオパトラ」

11月
彩の国さいたま寄席
四季彩亭

12月上旬
さいたまゴールド・シアター
第5回公演(岩松了 新作書き下ろし)



「聖地」(2010年) photo:宮川舞子

2月中旬
さいたまネクスト・シアター
第3回公演



「美しきものの伝説」(2010年) photo:宮川舞子

DANCE

海外から、現代人の感性を刺激する注目のダンス・パフォーマンスが2作品。子どもも大人も楽しめる人気の昔ばなしのダンス、そして何が飛び出すか毎回お楽しみのコンドルズの新作が並ぶダンス・ラインナップ。未来のバレリーナに向けてのバレエ・セミナーも毎年好評です。



「はなさかじいさん」(2008年) photo:池上直哉

7.30(土)～31(日)
日本昔ばなしのダンス
近藤良平/伊藤千枝

8.9(火)～11(木)
熊谷会館バレエ・セミナー

9.17(土)～19(日)・祝
第7回 DMJ 国際
ダンス映画祭
(提携公演)



小曾根 真
photo: Kiyotaka Saito

11.12(土)～13(日) (予定)
ジェローム・ベル
「ザ・ショー・マスト・ゴー・オン」



photo:Mussacchio Laniello

12.3(土)～4(日)
ヤン・ファープル
「プロメテウスの風景Ⅱ」

1.28(土)～29(日)
コンドルズ
埼玉公演2012 新作



photo:Wolfgang Bergmann

MUSIC

オーケストラによる壮大な響き、ピアノソロの繊細で豊かな音色、そして音楽の父バッハの魅力にたっぷりひたる5回の新シリーズ。実力も人気もあるアーティストが並びました。クラシックファンはもとより、気軽にファミリーで楽しめるコンサートも充実のラインナップです。

5.24(火)
埼玉会館ランチタイム・コンサート 第14回
N響メンバーによる弦楽四重奏

5.28(土)
熊谷会館ファミリー・コンサート
音楽の絵本



「夏休みオーケストラランド!」 photo:加藤英弘

7.31(日)
埼玉会館ファミリー・クラシック
夏休みオーケストラランド!

8.20(土)
彩の国さいたま芸術劇場ファミリー・コンサート
宮川彬良&アンサンブル・ペガ

8.27(土)
夏休みスペシャル

9.16(金)
埼玉会館ランチタイム・コンサート 第15回
三浦一馬
(バンドネオン)

9.24(土)

10.1(土)
小曾根 真の現在
Vol.2

10.15(土)
小菅 優の現在 Vol.3



10.29(土)

11.5(土)
カレファックス・
リード・クインテット

11.26(土)
ピアノ・エトワール・シリーズ
Vol.16
ダヴィッド・フレイ
鈴木雅明 cond.

11.19(土)

12.10(土)・11(日)
バッハとの対話 Vol.1・2
堤 剛

12.15(木)
埼玉会館ランチタイム・コンサート 第16回
東響メンバーによるアンサンブル

12.23(金・祝)
バッハ・コレギウム・
ジャパン《メサイア》
鈴木雅明 cond.

1.7(土)
埼玉会館ニューイヤー・コンサート2012
新日本フィルハーモニー
交響楽団
広上淳一 cond. 市原 愛 sop.
中井美穂 MC

1.28(土)・29(日)
バッハとの対話 Vol.3・4
寺神戸 亮

1.21(土)



堤 剛 photo:大野純一
寺神戸 亮 photo:T.Nagata
小山実雅恵 photo:Katsuo Sakayori

3.18(日)
ピアノ・エトワール・シリーズ Vol.17
金子三勇士

3.22(木)
埼玉会館ランチタイム・コンサート
第17回 通崎睦美(木琴)

3.24(土)
第50回スペシャル

SPECIAL

ますます熱い 蜷川ワールド

改修後の8月から全開の蜷川ワールド。11年夏から12年春にかけての演劇は、伝説の『身毒丸』で幕をあげ、シェイクスピアの大作、彩の国の両輪「さいたまゴールド・シアター」「さいたまネクスト・シアター」の上演まで、花も実もある4本が並ぶ。



photo:宮川舞子

奇跡が起きる伝説の舞台、装いも新たに登場

身毒丸

寺山修司と蜷川幸雄は、1995年に『身毒丸』で初めて出会った。当時、このことだけでも確実に“事件”だった。事件の波紋は奇跡を生み、伝説の舞台となった。16年経った2011年夏、その伝説を打ち破る『身毒丸』が登場する。

文：沢 美也子【演劇ライター】

闇の中、グライNDERから火花が散る。舞台の暗闇から何十人もの人間が横一列でゆっくりとやってくる。見世物のパレードのような、その中から1人の少年がさ迷い出てくると、私たち観客はもう隣の席の人からも劇場からも離れて、「その世界」へ連れ去られてしまった。『身毒丸』は人を惑わせる妖しくも美しい奇跡のような世界を現出させる。稀にみる作品として今や伝説的だ。説教節をもとにした『身毒丸』は、禁断の恋の物語であり、母と子の確執の物語であり、家に縛られた女の悲劇であり、社会への反逆でもあり、そして、母と子が睦みあう神話でもある。重層的な構造が、見る者を一層ひきつけてやまない。

奇跡の舞台『身毒丸』は、これまた奇跡と言っていい、寺山修司と蜷川幸雄の出会いから始まった。それまで寺山作品とは距離を置いていた蜷川の、初めての寺山作品が『身毒丸』だからだ。初演は78年の演劇実験室天井桟敷の公演だったが、岸田理生の脚色で新たに生まれ変わった台本を蜷川は、こ

れでもかというくらいの豊饒なイメージで具現化した。

百本の蠟燭を灯した大八車や、卒塔婆の林、巨大な髪切り虫など、どの瞬間も目が離せないほど鮮烈だ。義理の母と息子の、禁断の恋という官能的なモチーフを、蜷川は毒を含んで、なおも輝く舞台に仕立て上げた。家を捨て、名前を捨て、ただの男と女になってしっかりと抱き合う2人からは、美しい光がさすようだ。情念が渦巻く中にも、静謐な美があるのが、蜷川の魅力である。

蜷川の演出に応えた俳優たちも素晴らしかった。白石加代子が演じた継母・撫子は、孤独をにじませ、身毒に辛く当たれば当たるほど、逆に身毒への愛しさがあふれる。初演の身毒は武田真治で、“アイドル”の殻を破る好演。初演の成功がロンドン公演へと発展し、ここでも奇跡が起きる。「新人を発掘して、舞台だけでなくテレビでも映画でも活躍できる大きな俳優として育てたい」という蜷川の意向で、身毒役はオーディションで決めることになり、演技は全くの素人だった藤原竜也が審査員の全員一致で合格した。そしてロンドンでデビューという快挙を果た

す。その後の藤原の活躍は言うまでもないが、ロンドン凱旋公演で日本の観客の前に初めて立った時、その最初の一言から、無垢な抒情を漂わせ、劇場中を驚かせた。その鮮烈さは今もなお鮮やかだ。08年の公演を最後に、もう『身毒丸』はお蔵入りかと残念だったが、今年、ついに新たな『身毒丸』が生まれることになった。

新しい『身毒丸』には、新しい俳優をと、今回も身毒役は全国規模のオーディションが行われた。8523人もの応募者の中から選ばれた新人。撫子役も白石から新たな女優へと変わる。こちらも蜷川の信頼は厚く、新キャストは新鮮で刺激的な組み合わせとなりそう。しかも新演出で臨む2011年の『身毒丸』は、きっとまた奇跡を起こすに違いない。自ら伝説を打ち破る、それが蜷川の変わらぬ姿勢だから。

『身毒丸』復活 (2008年) Photo:Shunichi Takashima



11年 彩の国のシェイクスピアは アントニーと クレオパトラ

Shakespeare series Vol.24

Antony and Cleopatra

2010年の彩の国シェイクスピア・シリーズは、まだ記憶に新しい壮大な歴史劇『ヘンリー六世』と、オールメールキャストの喜劇『じゃじゃ馬馴らし』の2本が並んだが、11年秋のシリーズ第24弾は『アントニーとクレオパトラ』が登場する。



実はシェイクスピア 絶頂期の作品

『アントニーとクレオパトラ』は、タイトル通り、カリスマ的なローマの武将アントニーと、エジプトの女王、というよりは絶世の美女と謳われたクレオパトラの2人を軸に、大人の恋を描いた一大スペクタクル悲劇だ。『ロミオとジュリエット』が若者の純粋な恋愛悲劇ならば、こちらは一国の主2人の酸いも甘いもかみ分けた官能的な熟年愛の物語。

舞台は、シェイクスピアが中期に書いた『ジュリアス・シーザー』のあとの時代、つまりシーザーの死から4年後の紀元前40年に始まる。そのシーザーの愛人だったクレオパトラの色香に惑わされ、エジプト・アレ

クサンドリアのクレオパトラの宮殿で戯れているアントニーが姿を見せて幕があく。ここから舞台は、ローマ、シチリア島のメシーナ、シリアの平原など、次から次へ目まぐるしく場面は行ったり来たり、加えておびただしい使者や伝令が行き交い、実に長短(短いが多い)42の場面で構成されている。

シェイクスピアがこの戯曲を書いたのは、『ジュリアス・シーザー』から8年後といわれているが、その間に、重厚な悲劇が書かれ、『オセロ』『リア王』に続いて『マクベス』の直後の作品で、いわばシェイクスピアの文学的創造力が頂点の時期。それだけに、アントニーを徐々に追い詰めるクレオパトラの不可思議で魅力あふれる人物像は、激しやすく情熱的でありながら、茶目っ気もあ

り気まぐれ、そして政治的にも抜け目なく、ハムレットやフォールスタッフ(『ヘンリー四世』)と並び、シェイクスピアが創り出したもっとも複雑な人物だという説もある。

そんな一筋縄ではいかないスケールの大きい悲劇に蜷川幸雄が挑む。

吉田アントニーと 安蘭クレオパトラ

この一大悲劇のタイトルロールを、吉田鋼太郎と安蘭いりが演じる。吉田は自身3度目のアントニー役となるが、蜷川シェイクスピアでその実力を遺憾なく発揮し、海外公演での評価も高いことはつとに知られているとおり。今回の蜷川演出で新たなアントニー像が生まれるに違いない。一方、クレオパトラには、宝塚退団以降、主演舞台に立ち続け、さらに飛躍している安蘭いり、初の蜷川作品、初のシェイクスピア作品となり、どんな美女(時に悪女)ぶりを見せるか、彼女のファンならずとも大注目だ。さらに、歴史に名を残す英傑、將軍たちなどには池内博之、坂口芳貞、横田栄司、熊谷真実ら、実力派が出演する。

なお、彩の国の公演後、蜷川演出作品初の韓国公演が早くも決定しており、蜷川シェイクスピアがアジア圏でどう迎えられるか、興味は尽きない。

Story

ローマの三執政官の一人、アントニーは、アレクサンドリアのクレオパトラの宮殿の饗宴のさなか、妻の死とポンペイが海上の覇権を握ってローマをおびやかしているとの報せに、クレオパトラの燃えるような想いを振り切り、ローマへ帰る。そして同じ三執政官のオクタヴィウス・シーザー(ジュリアス・シーザーの甥の息子)の姉と略略結婚するが、数年で離婚、再びクレオパトラのもとへ走る。一方シーザーは、次々と西方の統治権を確保、勢力を伸ばす。そしてついにギリシャ沖合で両海軍は激突、結果はエジプトの惨敗、クレオパトラはいち早く逃亡。続々と味方に裏切られたうえ、クレオパトラが自殺したという虚報を信じたアントニーは自殺。クレオパトラも毒蛇に自らの胸を咬ませ、アントニーのあとを追う。



花開いた2つの演劇集団

さいたまゴールド・シアター

Saitama Gold Theater & Saitama Next Theatre

さいたまネクスト・シアター

彩の国さいたま芸術劇場の両輪として走り始めた2つの演劇集団。

この冬、第1回公演『船上のピクニック』から4年を経たゴールドが、再び岩松了の書き下ろしに挑戦する。来年2月には、『美しきものの伝説』で飛躍的な成長をみせたネクストが登場。翻訳家・演劇評論家の松岡和子さんに、この両輪への思いと期待を語っていただいた。

インタビュー：松岡和子 [翻訳家・演劇評論家]

「伝えられたかな」の重み

彩の国さいたま芸術劇場の芸術監督として、蛭川さんは《さいたまゴールド・シアター》を、そして3年後には《さいたまネクスト・シアター》を立ち上げました。高齢者の演劇集団と、かたや若者の演劇集団。両極端の2つが、劇場の両輪として、思いのほか早く実を結んだと実感したのが、昨年のさいたまネクスト・シアター第2回公演『美しきものの伝説』でした。

あの舞台では、最初にアクリルの水槽がいくつも出てきました。ひとつひとつの過去のエピソードといってもいいようなゴールドのメンバーが水槽の中に体を丸めて入っていて、舞台奥からスーと出てきましたね。それこそ過去の歴史が遠くから現在に向かって現れてきて、そこに命が吹き込まれるようにして劇が始まる。水槽のなかのゴールドに託した歴史の重みが現在形になって出てくるわけで、1968年に宮本研さんが書いた大正期の芝居を、2010年に蛭川さんが演出して、かつてこういう若者たちがいたんだよというふうに提示したことの見事さ、美しさに思わず息をのみました。また、女性の地位と権利、あるいは言論の自由とか、今の私たちが当たり前のように享受していることが、当時は当たり前じゃなかったということも舞台を観ると

いやでもわかる。そういう意味でネクストが取り組むのに実にふさわしい演目であり、ゴールドがいることによって、それが実現できる演劇的環境が整ったということだと思います。

ゴールドは、今や他の劇場公演やカンパニーにも呼ばれ、しかも相応の存在感を示すなど、もうプロの劇団ですよ。公演を重ねるごとに進化し、成長して、何よりもみなさんの顔が素敵です。『アンドウ家の一夜』も『聖地』も、それぞれの背負ってきた人生がきちんと舞台上に表れていて、演出家の要求にもちゃんと応えて舞台に立っていました。その佇まいには感動すおぼえました。演技が未熟だったころでさえ、彼らの顔と姿には見る者の視線を捉えて放さない磁力があった。

一方、まだ生きてきた時間と経験の蓄積のない若い俳優にとって厳しいのは、そういう磁力がないと、ただの下手な俳優。一昨年のネクストの旗揚げ公演『真田風雲録』では、マスとしてのエネルギーは感じられなくても、一人一人の顔は覚えられなかった。それが、『美しきものの伝説』では個々人がちゃんと魅力的な顔をもっていた。これはすごく大きいことです。だから『美しきものの伝説』は一昨年じゃ絶対にできなかった舞台で、ゴールドが自立して、ネクストも1年経って、若者が育ってきているという



さいたまネクスト・シアター『美しきものの伝説』(2010年)カーテンコールでゴールドと一緒に。Photo: 宮川舞子

歩調が、『美しきものの伝説』という作品で奇跡的に合ったという感じがします。

初日の幕がおりたあと、蛭川さんが「伝えられたかな」って、私におっしゃいました。もちろん社会的に先達が命を賭けて獲得してきたもの、その事実が伝えられたかなというもあるし、ネクストのメンバーにとって身近なことでは、演技とは何か、蛭川さんが望む役者として大切なことは何かとか、そういうことも全部含めて、お客に伝わったのか、そして若い役者たちにそれを伝えられたかとか、私はそれら全部だと思って聞きました。

私自身この年齢になると、次世代のシェイクスピアの読み手や作り手に、ここだけは伝えておきたいなということがどんどん出てきます。蛭川さんの言葉を受け止められる素地が私にもようやくできてきて、それで蛭川さんの「伝えられたかな」という言葉が強く響いたのかもしれない。蛭川さんはひとつひとつの作品そのものだけでなく、人も育てようとしていらっしゃる。人を育てるといえるのは伝えるということだと思います。演劇は、人から人へしか伝えられないもの。伝えたいもの、伝えるべきものが伝わったという手応え、そういうものが集約的に表れた、あるいはこの『美しきものの伝説』そのものが蛭川さんの伝えたいことすべてだという気がします。(談)

今年も刺激的なダンスが勢ぞろい

今年もなんと楽しみなダンス・シーンが彩の国に展開される。世界的に活躍する2人の演出・振付家、ジェローム・ベルとヤン・ファープルに、大人気シリーズ「日本昔ばなしのダンス」は待望の新作、さらには、コンドルズ6年連続の埼玉公演。どれも観逃せない。

ジェローム・ベル

『ザ・ショー・マスト・ゴー・オン』

今年11月、異才振付家ジェローム・ベルの代表作を日本版キャストで上演する。昨年の『3Abschied』で、“ダンス”にとらわれないアイデアで観客に衝撃を与えたのは記憶に新しい。ダンサーから“ダンスという鎧”を脱がす、ジェローム・ベルに迫る。

文=貴 成人 [哲学・舞踊批評]

ジェローム・ベルの作品にダンスらしいダンスは登場しない。だが、それではどうしてそれがコンテンポラリー・ダンス作品と言えるのだろうか。

出世作『シャートロジー』は、男性が、重ね着していたTシャツを次々に脱いでいくという作品である。ダンスらしさを拒むこのやり方は、アンヌ・テレサ・ドゥ・ケースマイケルとの合作『3Abschied(3つの別れ)』でも変わらない。

作品の主題となるマーラー《大地の歌》(告别)は、人生との惜別=死を直視するオーケストラ作品だが、ここでは13名の演奏家用の簡易版楽譜が使われる。その生演奏をバックにまずケースマイケルが、この上なく切ないダンスを見せるのだが、そのあと登場したベルの姿が見物だ。かれは、舞踊作品にはありえないほど寛いのである。

マーラーの世界をご覧にいれようと言うベルは音楽家たちに、演奏の途中で順次、退場してくれと頼む。演奏が進むにつれて人びとは去り、無人の舞台が残る。ふたたび登場したベルは、今度は音楽家たちに、演奏途中で死んでくれと言う…。

ダンステクニックを封印し、アイデアを前面に出したそのスタイルは2000年前後のヨーロッパを席卷し、一部では「ノン・ダンス」とよばれた。それは、美術における「コンセプチュアル・アート」にも類似する。

だが、ベルは尖端性を追求するだけの作家ではない。『3Abschied』では、空気感もありにも「ゆるい」ため、観客は舞台へのス

ダンスを自分なりにさぐるゆとりをもつ。舞台のどこをどう見るべきか、音楽や照明、動きなどによってひそかに指示し、全員の視線を規格化する従来の作品がいかに全体主義的だったか、ベルは気づかせてくれるのである。

それだけではない。『ヴェロニク・ドワノー』に登場するのは、引退目前のオペラ座ダンサー、ドワノー本人だ。収入や家族、トップダンサー(「エトワール」)になれずじまいだったことを、ユーモアまじりに語ったあと、彼女は『ジゼル』などお気に入りの作品を踊る。踊り終わり、乱れた息が静まるのを待つその姿は、バレエの技を披露するオペラ座ダンサーとは対極の、無防備な、“ダンスという鎧”を脱いだ姿だ。幾度となく『白鳥の湖』を演じてきたに違いない彼女は、「主

役をもし立てる」群舞が嫌でたまらなかったと言う。群舞パートを踊ってみせる彼女は、少し動いたかと思うとポーズをとって動きをやめ、チャイコフスキーの曲が進んでいくのに、彫刻のように身じろぎもしない。やがてまた動きは始めるが、いかにも唐突で、しかも、動きにのりかけたとたん、また止まってしまう。不自然な繰り返しから伝わるのは彼女の無念であり、観客は思わず涙し、彼女に「拍手」する。ダンサーが鎧を脱げば観客の心も開かれる。そもそもダンサーのありのままの姿を見せるのはダンスが生まれたとき以来の理想だったのである。

11月日本初演の『The show must go on!』が楽しみだ。

Jérôme Bel

ジェローム・ベル

1964年フランス生まれ。パリに在住し、世界的に活躍するダンサー、振付家、演出家。身体表現に説明的な言葉を織り交ぜたコンセプチュアルな作品で知られる。92年のアルベールビルオリンピックでは開会式・閉会式の演出を担当したフィリップ・ドゥクフレの助手を務める。94年に最初の振付作品を発表して以来、多数の作品を発表している。2004年にはパリ・オペラ座バレエ団に招かれ『ヴェロニク・ドワノー』を上演。01年に発表した代表作『ザ・ショー・マスト・ゴー・オン』は、05年のニューヨーク公演においてベッシー賞を受賞。



Photo: Feran McRope



Vol.02

岩松了

ARTIST'S STARTING POINT

アーティストの原点

『船上のピクニック』から4年、さいたまゴールド・シアターの第5回目となる公演に、再び新作の書き下ろしが決定した岩松さん。多くの傑作戯曲を世に送り出しているばかりか、演出家として、また俳優としても活躍。さて、その原点は……。

都会に目がくらんで

高校時代から文学に憧れていて、本当は早稲田の仏文に行きたかったんです。でも、家庭の事情もあり、国立の東京外国語大学ロシア語学科に行きました。高校の時にロシア文学をよく読んでいたというのもあるし、ドストエフスキーとかトルストイとか、そのあたりの偉大な人の研究をすれば何かにとりつけるんじゃないかという甘い考えもあって(笑)。あと中学生の頃に、受験勉強は悪いものだった時があって、住んでいた町から近い佐保市内にいくつか進学校はあったけど、あえて田舎の小さな高校に入学したんです。ところが入った途端がっかりしてしまいました。要するに友だちが退屈なんです。文化に飢えて、ひたすら本を読んでいたね。文化の香りと都会への憧れ。それで東京の大学に行ったわけです。

せっかく東京に出てきたんだから都会的なことをやりたいと思っていたら、たまたま同じクラスに演劇部に入った奴がいたんです。それまでまったく演劇に興味なかったのに、「演劇かぁ、都会的だなあ」となぜか思ってしまった(笑)。僕が入ったのは『ヴェガ』という劇団でしたが、初めての舞台はその劇団ではなく、フェルナンド・アラバルの『祈り』という2人芝居を演出したいという奴に呼ばれてのことでした。相手役は田丸美寿々さん(女性キャスト)でした。

大学にはもうひとつ、『演劇集団 鶏』という劇団がありました。当時まだ大学には学生運動の余波があり、「一切のメロドラマを破砕せよ」というのがその劇団のスローガンで、公演を観に行ったら、ロックに合わせてヘルメットかぶって竹槍をもって壁をつつくだけの芝居なんです。でも、「都会は進んでるなあ」と妙に感心

したりして(笑)。そして、その『賊』が売りに来た、ガリ版刷りの機関紙の書き出しが「前回の公演でわれわれがいじくも露呈したメット意識は……」とあって、当時の僕のボキャブラリーにはまったくない言葉で、そこでも「都会は進んでるなあ」と思いましたね(笑)。

演劇は、そのフリーランスな感じが都会的だと思ったのかな。当時の感覚でいうと、スクエアじゃなくて、ヒップな感じ。それともうひとつ、小説を読むのがすごく好きだったけど、小説って読むでは忘れ、読んででは忘れでしょ。でも演劇だと、ひとつの作品を何度も繰り返して読んで舞台にするわけで、そういう習性がいいなと思ったということもあるのかもしれない。

自分なりの喜劇観が生まれる

もうちょっと都会的なものに憧れて、六本木にあった『自由劇場』(のちのオンシアター自由劇場)の研究生となりましたが、1年でやめました。その年に大学も中退してぶらぶらしていたら、自由劇場時代に一緒だった柄本明から「劇団をつくるんだけど、演出する奴がいらないから頼む」と電話があったんです。それが『東京乾電池』で、人気劇団になっていったんですが、ずっと即興芝居のコント劇団とみなされていて、10年たった頃、もう即興はいいやと思って、やめようと思った。

でもこのままやめるのは悔しいし、他人がわからなくてもいいから自分がおもしろいと思うのを書きたいと思ったんです。それは、問題はいつも水面下にあるって、日常生活の意味のない台詞がいっぱいあって、終わってみたら問題がいっぱいでくるようなもの。それが『お茶と説教』(1986)で、1週間書きあげました。公演は評判になって、次も書くかということで、

PROFILE

岩松了(いわまつ・りょう)
劇作家・演出家・俳優。1952年生まれ。長崎県出身。89年、『蒲団と達磨』で岸田國士戯曲賞、94年『これゆけ男』『鳩を飼う姉妹』で紀伊國屋演劇賞個人賞、98年『テレビ・デイズ』で読売文学賞受賞など、受賞多数。2007年、さいたまゴールド・シアターに『船上のピクニック』(蜷川幸雄演出)を書き下ろす。現・兵庫県立ピッコロ劇団代表。近年の演出作品に『シダの群れ』『国民傘一避けえぬ戦争をめぐる3つの物語』など。自身のプロデュース公演『カスケード〜やがて時がくれば〜』を上演中(3月27日まで)。

『お茶と説教』からはじまった「町内劇シリーズ」を3本、4本目は『蒲団と達磨』という作品で、それが『新劇』に掲載されて初めて活字になり、岸田國士戯曲賞を受賞しました。そしたらもう職業にするしかないじゃないですか。そして今日にいたるですね。

で、原点というと、『お茶と説教』を書く前に、有楽町でジム・ジャームッシュの『ストレンジャー・ザン・パラダイス』という映画を見ていたんです。あれこそ水面下に意味があって、台詞自体には意味がない。語っている言葉はなんでもないので、終わってみたら問題がいっぱい残っている。当時の僕の問題意識と同じだと勝手に受け止めて、映画でこういうことをやっている人がいるんだしたら、それを演劇でもやっていこうと思ったんです。それからしばらく、新作を書く前には必ずこの映画をビデオで見っていましたね。そのへんが創作の原点かもしれない。

岩松さんの原点



何かが起こりそうて起こらない

『ストレンジャー・ザン・パラダイス』(1984年) ジム・ジャームッシュ監督作品。全編モノクローム映像で、音楽は弦楽四重奏とロックンロール。不思議な魅力にあふれたジャームッシュの原点ともいえる作品。84年カンヌ国際映画祭最優秀新人監督賞、ロカルノ国際映画祭グランプリ、全米映画批評家協会賞最優秀作品賞。日本では86年公開。ミニシアター・ブームの草分け的作品としてロングランヒットした。(発売元:キングレコード株式会社 / DVD:1,890円(税込) ※BDあり)

Review 2011.1-2の彩の国のアーツ

2011.1-2



Photo: 加藤英弘

PLAY 1月7日~10日

劇場体験ツアー

親子で舞台裏を体感できる「劇場体験ツアー」。照明や音響機材を操作したり、めったに入ることのできない奈落や楽屋にも潜入。そして海賊たちが冒険を繰り広げるお芝居を観劇し、劇場の面白さを丸ごと体験。



Photo: 加藤英弘

MUSIC 1月8日

埼玉会館ニューイヤー・コンサート 東京交響楽団

今年は東京交響楽団が登場。ソプラノの森麻季、ヴァイオリンの大谷康子をソリストに迎え、飯森範親の指揮でウィнна・ワルツやポルカを披露。新年を飾るにふさわしい明るく華やかなコンサートとなった。

PLAY 1月14日

彩の国さいたま寄席 四季彩亭 ~林家たい平とおすすめ若手落語会

おなじみの林家たい平と、たい平おすすめの若手落語家との競演。古今亭菊志ん、柳家三之助、古今亭志ん八ら、若さに実力も兼ね備えた彼らのパワーと、熱の入ったたい平の高座で、会場は大いに沸いた。



Photo: 加藤英弘



Photo: 加藤英弘

MUSIC 1月22日

ピアノ・エトワール・シリーズ Vol.15 エフゲニー・ストピン

既に海外で高い評価を集めるストピンの初来日公演。衝撃のデビュー盤に収録のスカララッティのソナタから始まり、多彩なプログラムで聴衆を魅了。今後も注目し続けるべきピアニストとして彼の活躍に大きく期待。



Photo: 池上直哉

DANCE 1月29日~30日

コンドルズ 埼玉公演2011新作 『ロングバケーション』

ダンスのみならず、コントや人形劇、楽器演奏まで、面白く思われることを全て出し、ユニークな美学で観客をひきずりこむコンドルズ。劇場改修前の最後の公演を、舞台も観客も熱狂のうちに締めくくった。



Photo: 加藤英弘

MUSIC 2月18日

埼玉会館ランチタイム・コンサート 第13回 ピアノデュオ ドゥオール

ランチタイム・コンサート初のピアノ公演。国内外で活躍中の2人が、ショパンのお馴染みの曲の2台ピアノ版や、フランス近代の名曲の数々を、息のびたりとあった、優雅で洗練された演奏で披露した。

チャイコフスキー国際コンクールの覇者 神尾真由子が語る《ヴァイオリン協奏曲》

日本人では諏訪内晶子以来のチャイコフスキー国際コンクール・ヴァイオリン部門での優勝という快挙を遂げた神尾真由子。その歌心に満ちた音色はますます冴えわたり、チャイコフスキーの《ヴァイオリン協奏曲》を披露する。指揮は、今年10月にベルリン・フィルへのデビューを果たすパブロ・ヘラス＝カサド。そのコンビにも注目が集まる。

取材・文＝片桐卓也 [音楽ライター] Photo: 横田敦史



10代の初めに全曲演奏した 《ヴァイオリン協奏曲》

2007年の第13回チャイコフスキー国際コンクール・ヴァイオリン部門で優勝した神尾真由子が、7月に埼玉会館で行なわれるNHK交響楽団の演奏会にソリストとして参加する。演奏曲目はチャイコフスキーの《ヴァイオリン協奏曲》。この曲は、イギリス最古のオーケストラといわれるマンチェスターのハレ管弦楽団、トーマス・ザンデルリンク指揮による録音で昨年リリースされたもの。

「これまでもっともたくさん演奏した協奏曲であることは間違いないですね。録音後、この曲を弾くのは今回の埼玉会館での演奏が初めてとなります」

子ども時代に五嶋みどりの演奏するこのチャイコフスキーの協奏曲を聴いた。「その時は特に第2楽章に感動したのですが、今でも個人的にゆったりした第2楽章が好きです」

と語る。最初にこの協奏曲を全曲演奏したのは10代の初めだった。

「確か大阪フィルさんとの演奏会でした。それまでに第3楽章を演奏したことはあったのですが、実際に全曲弾いてみると、第1楽章が意外に難しいなど、その時は思いました」

サービス精神あふれる ロシア的な作品

チャイコフスキーのヴァイオリン協奏曲

は、作曲時に名手レオポルト・アウアーに楽譜を送ったところ演奏不可能と言われて、初演を拒否されたといういわくつきの曲でもある。

「想像ですが、例えばボウイングも指使いもまったく書き込まれていないこの協奏曲の楽譜が送られてきたら、ギョッとしてしまうでしょうね。チャイコフスキー自身はヴァイオリンのテクニックにそれほど詳しくなかったはずで、弾きやすい作品ではないですね」

現代では誰もが名曲と考える作品にも、その評価を得るまでには時間がかかっている。チャイコフスキーのヴァイオリン協奏曲も例外ではない。アウアーが拒否した後に、アドルフ・ブロッツキー(ロシア人ヴァイオリニスト)がハンス・リヒター指揮ウィーン・フィルにより初演を行なったが、その時も酷評されている。しかしブロッツキーが何度も演奏を繰り返して、この作品の魅力伝えて行くことで、作品として評価されるようになった。

「いかにもロシア的な作品だと思います。痒いところに手が届いて、こちらが充分気持ち良くなっているのに、さらに赤くなるまで搔いてくれる(笑)、みたいなサービス精神にあふれていますよね」

チャイコフスキーやラフマニノフに感じる粘着質な雰囲気は、ロシア人ならではのサービス精神なのだという。

「この人のお世話をすると決めたら、もういらなくなって怒るまでいろいろと世話をしてくれるとか、友人だと思ったら、とことん親密してくれるとか。そういうのはロシ

ア人ならではの部分で、音楽にも表れていると思います。いまだに若い世代の人たちもそうなんです」

友人の90%はロシア人だと言う神尾さんならではの感じ方なのかもしれない。

合理的な思考を併せもつ 若きヴァイオリニスト

「ロシア人と話していて、うまく話が合っている時は、『君は心までロシア人だね』と言われます。でも、ちょっと意見が合わないと『君の頭はアメリカ人だね』と非難されま(笑)。で、どう転んでも、『マユコは日本人ではない』と言われます、スイス人にさえ」

もしかすると、それは理数系が好きという神尾さんの個性のせいかもしれない。父親の親戚はみな理数だというし、普段も数学などが好きという一面も持っている。

「芸術系は唯一、祖父(母の父)だけで、彼がヴァイオリンを奨めてくれたんです。だからそれがなければ、今の私はなかったかもしれませんね」

音楽家である部分と、非常に合理的な思考をする部分とが、神尾さんのなかでは常に共存しているのかもしれない。そんな彼女とロシアの作曲家の結びつきはとても面白い。

今回はスペインの新鋭指揮者パブロ・ヘラス＝カサドとの共演。現代曲も得意とする彼との演奏が今から楽しみである。

神尾真由子 かみお まゆこ ●ヴァイオリン

4歳よりヴァイオリンを始める。2007年に第13回チャイコフスキー国際コンクール優勝。世界各地でのリサイタルは絶賛を博しており、ニューヨーク・タイムズ紙には「正確なテクニックとあたたかなビロードの音色で示す強靱な表現力」と評された。大阪府知事賞、京都府知事賞、第13回出光音楽賞、文化庁長官表彰、ホテルオークラ音楽賞はじめ数々の賞を受賞。使用楽器はサントリーホールディングス株式会社より貸与された1727年製ストラディヴァリウス。



パブロ・ヘラス＝カサド ●指揮

スペイン生まれ。若年33歳ながら、すでに多才な指揮活動を行っており、そのレパートリーは幅広い時代とジャンルに至る。2007年のルツェルン音楽祭の指揮者コンクールで満場一致で優勝。08年、パリ・オペラ座でマルク・オリヴィエ・デュパンのバレエ《天井桟敷の人々》の世界初演を指揮してデビュー。11年はモネ劇場をはじめ世界各地での出演が、10年には、ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団との初共演が予定されている。

NHK交響楽団 パブロ・ヘラス＝カサド(指揮) 神尾真由子(ヴァイオリン)

日時：7月3日(日) 開演 15:00
※ 14:25～14:40 指揮者による
プレコンサート・トークあり(通訳付き)
会場：埼玉会館 大ホール
曲目：チャイコフスキー：ヴァイオリン協奏曲
二長調 作品 35
シベリウス：交響曲第2番
二長調 作品 43
※予定枚数終了いたしました

Violin: *Kamio Maryuko*

NHK Symphony Orchestra, Tokyo,
Conductor: Pablo Heras-Casado,

ファミリー・コンサート花盛り、親子でコンサートに行こう!

©SUPERKIDS



熊谷会館ファミリー・コンサート 「音楽の絵本」

動物たちだけで結成された話題の金管五重奏団「ズーラシアンブラス」。メンバーは、まじめな指揮者のオカビをリーダーとした、ユーモアと個性あふれる希少動物たち。昨年、結成10周年を迎えにぎやかなブラスが、絶妙のコンビネーションで音楽の楽しさをお届けします。「弦うさぎ」はうさぎの四姉妹による弦楽四重奏。メグ、ジョー、ベス、エイミーのなかよし四姉妹が、うっとりするほど優雅な演奏でみなさんを魅了します。東京交響楽団との共演や海外公演など活躍の幅を大きく広げる彼らの演奏は各方面からの折り紙つき。本格的なクラシックから映画音楽や童謡まで、動物たちが奏でる多彩な音楽の世界をどうぞお楽しみに!

日時●5月28日(土) 開演14:00(休憩ありの90分プログラム) 会場●熊谷会館
出演●ズーラシアンブラス(金管五重奏+指揮者) 弦うさぎ(弦楽四重奏)
曲目●ロッシニ:《ウィリアム・テル》序曲 エルガー:愛の挨拶 久石譲:となりのトトロ・メドレーほか
チケット(税込)●全席指定 大人2,000円 こども(3歳~中学生)1,000円 好評発売中
※3歳未満のお子様のお席はご遠慮ください。

埼玉会館ファミリー・クラシック 「夏休みオーケストラランド!」

オーケストラの魅力が詰まった「夏休みオーケストラランド!」。今年もトランペットの華やかなファンファーレからはじまるチャイコフスキー《エフゲニー・オネーギン》の《ポロネーズ》や、テレビなどでもよく耳にするポロディンの《だったん人の踊り》など、オーケストラサウンドをたっぷりお届けします。大人気企画「指揮者にチャレンジ!」では、《カルメン》の《前奏曲》に挑戦します!(当日抽選。希望者は開演前に会場でお申込みください。)そのほかにも、オーケストラのいろんな楽器を紹介する《青少年のための管弦楽入門》や、今春、小学校を卒業する藤田真央くんのピアノとオーケストラとの共演も!恒例の「みんなで歌おう&演奏しよう!」では、オーケストラと会場のみんで《となりのトトロ》の《さんぽ》を歌って演奏します(好きな楽器をお持ちください)。生のオーケストラを間近で見て聴いて。その迫力をどうぞお楽しみください!

日時●7月31日(日) 開演14:00 会場●埼玉会館 大ホール
出演●飯森範親(指揮) 朝岡 聡(ナビゲーター)
藤田真央(ピアノ/第64回全日本学生音楽コンクール小学校の部全国大会第1位)
東京交響楽団(管弦楽)
曲目●【指揮者にチャレンジ!】ピゼー:歌劇《カルメン》より 前奏曲
【みんなで歌おう&演奏しよう!】久石 譲:さんぽ
ポロディン:だったん人の踊り ほか
チケット(税込)●一般:大人S席3,500円/A席3,000円
子ども(3歳~中学生) S席1,500円/A席1,000円
メンバーズ:大人S席3,200円/A席2,700円
発売日●一般4月9日(土) メンバーズ4月2日(土)
※3歳未満のお子様のお席はご遠慮ください。



Photo: 加藤英弘



彩の国さいたま芸術劇場ファミリー・コンサート 「宮川彬良&アンサンブル・ベガ」

子どもも大人も楽しめるミュージック・エンターテインメント「宮川彬良&アンサンブル・ベガ」が、彩の国さいたま芸術劇場に登場します!作・編曲、ピアノ、司会の3役をつとめるのは、NHK教育「クインテット」でおなじみのアキラさん。洒脱なトークとパフォーマンスで、音楽の楽しさをお伝えます。そして、アキラさんが絶大な信頼をおく8人のオーケストラ首席奏者たちによる確かな演奏は、「オーケストラの音がする!」とクラシック初心者から愛好者まで幅広い層から支持を受けています。今年は、お子様とご家族のための70分プログラム(休憩なし。対象:3歳以上)のほかに、もっとたくさんの曲を聴きたいという声にお応えして、じっくりとコンサートを堪能していただける2時間プログラム(休憩あり。対象:小学生以上)を加えた2公演をご用意しました。ご家族揃ってお楽しみください!

日時●8月20日(土)
①11:30開演
(休憩なしの70分プログラム/3歳未満のお子様のお席はご遠慮ください)
②17:00開演
(休憩を含む2時間のプログラム/未就学児のお席はご遠慮ください)
会場●彩の国さいたま芸術劇場 音楽ホール
出演●宮川彬良(ピアノ・作編曲・お話) アンサンブル・ベガ
チケット(税込)●全席指定 ①一般:大人3,000円 こども(3歳~中学生)1,500円
メンバーズ:大人2,700円
②一般:大人4,000円 こども(小中学生)2,000円
メンバーズ:大人3,600円
発売日●一般5月28日(土) メンバーズ5月21日(土)

EVENT CALENDAR 2011.3.15-2011.5.31

4	April	
15	金	彩の国シネマスタジオ 埼玉会館上映会 『オカンの嫁入り』 上映時間 10:30 / 14:30 / 18:30 ※10:30上映回は音声ガイドがつきます。イヤホン付きFMラジオ受信機を使用しますので、お聴きになる方はご持参ください。 ※14:30上映回終了後、呉 美保監督によるアフタートークがあります。
5	May	
12	木	彩の国シネマスタジオ 埼玉会館上映会 松井久子監督特集 A:『レオニー』 B:『折り梅』 C:『ユキエ』 上映時間 10:30 (B) / 14:30 (A) / 18:30 (C) ※松井久子監督来館。14:30上映回終了後にアフタートーク、18:30上映回は舞台挨拶後に上映。 ※詳細は下枠にて ※10:30上映回は音声ガイドがつきます。イヤホン付きFMラジオ受信機を使用しますので、お聴きになる方はご持参ください。
13	金	彩の国シネマスタジオ 埼玉会館上映会 松井久子監督特集 A:『レオニー』 B:『折り梅』 C:『ユキエ』 上映時間 10:30 (C) / 14:30 (B) / 18:30 (A)
24	火	埼玉会館ランチタイム・コンサート 第14回 N響メンバーによる弦楽四重奏 開演12:10 ※詳細はP.18にて
28	土	熊谷会館ファミリー・コンサート 音楽の絵本 開演14:00 ※詳細はP.16にて

【施設利用休止のお知らせ】

彩の国さいたま芸術劇場では、皆様安心して安全に施設をご利用いただくため、施設等の改修が行われます。このため、改修工事期間の2011年2月1日から6月30日までの間は、ホール、稽古場・練習室、舞台芸術資料室等施設のご利用を休止させていただきます。

このため、下記の期間、施設のご利用を休止させていただいております。ご不便をおかけしますが、何とぞご理解くださいますようお願い申し上げます。

- ・大ホール、小ホール 2011年7月31日まで
- ・音楽ホール、映像ホール 2011年7月14日まで
- ・稽古場、練習室、舞台芸術資料室 2011年6月30日まで

【問合せ先】彩の国さいたま芸術劇場 管理課施設担当 Tel.048-858-5508

※改修期間等に変更が生じた場合は、財団ホームページ等でお知らせいたします。
※彩の国さいたま芸術劇場内の総合インフォメーション(施設予約、チケット販売)は、下記の休館日を除き、改修期間中も通常通り営業しておりますので、ご利用いただけます。
※レストラン「ピストロやま」は改修期間中も営業しております(ただし、レストラン工事のため休業となる期間もございますので、劇場またはレストランにお問い合わせください)。

- 3月…彩の国さいたま芸術劇場:21日(月)、28日(月)
熊谷会館:15日(火)
4月…彩の国さいたま芸術劇場:4日(月)、11日(月)、18日(月)、25日(月)
熊谷会館:14日(木)
5月…彩の国さいたま芸術劇場:2(月)、9日(月)、16日(月)、23日(月)、30日(月)
熊谷会館:4日(水・祝)、23日(月)、24日(火)

彩の国シネマスタジオ LINE UP 2011.4-6

【料金】大人一律1,000円/小中高生800円(当日支払いのみ)
【会場】埼玉会館 小ホール
※4~6月の彩の国シネマスタジオは埼玉会館で上映いたしますのでご注意ください。

埼玉会館上映会 4月



『オカンの嫁入り』

母親の突然の再婚宣言で、母一人子一人で仲良く暮らしてきた母娘の関係が揺れ動く。新鋭・呉 美保監督が描く、温かくて、愛おしくて、切ない母娘の姿。

4月15日(金) 10:30 / 14:30 / 18:30
※10:30上映回は音声ガイドがつきます。
イヤホン付きFMラジオ受信機を使用しますので、お聴きになる方はご持参ください。
※14:30上映回終了後、呉 美保監督によるアフタートークがあります。

【監督・脚本】呉 美保
【出演】宮崎あおい 大竹しのぶ ほか
(2010年/日本/110分)

松井久子監督特集 A:『レオニー』 B:『折り梅』 C:『ユキエ』

家族の絆を描き、国内外で高い評価を得ている松井久子監督。デビュー作『ユキエ』、観客動員が100万人を超えた『折り梅』、最新作『レオニー』の3作品を一挙上映!

5月12日(木) 10:30 (B) / 14:30 (A) / 18:30 (C)
13日(金) 10:30 (C) / 14:30 (B) / 18:30 (A)
※12日(木)松井久子監督来館。14:30上映回終了後にアフタートーク、18:30上映回は舞台挨拶後に上映。
※12日(木)10:30上映回は音声ガイドがつきます。
イヤホン付きFMラジオ受信機を使用しますので、お聴きになる方はご持参ください。

『レオニー』 出演=エミリー・モーティマー 中村獅童 ほか(2010年/日本・アメリカ/132分)
『折り梅』 出演=原田美枝子 吉行和子 ほか(2001年/日本/111分)
『ユキエ』 出演=倍賞美津子 ほか(1997年/日本/93分)

埼玉会館上映会 5月



ミニ中国映画祭

A:『宋家の三姉妹』 B:『山の郵便配達』 C:『未完の対局』

数十年にわたる日本と中国の名棋士の人生を描き、モントリオール国際映画祭グランプリを受賞した『未完の対局』をはじめ、珠玉の作品を集めた中国映画特集。

6月9日(木) 10:30 (A) / 13:50 (B) / 16:10 (C) / 19:05 (B)
10日(金) 10:30 (C) / 14:30 (A) / 18:30 (B)
※10日(金)14:30上映回終了後、映画評論家・石子順氏によるアフタートークがあります。

『宋家の三姉妹』 監督=メイベル・チャン 出演=マギー・チャン ほか(1997年/香港・日本/145分)
『山の郵便配達』 監督=フォ・ジェンチイ 出演=トン・ルウジュン ほか(1999年/中国/93分)
『未完の対局』 監督=佐藤純彌 段吉順 出演=三國連太郎 孫道臨 三田佳子 ほか(1982年/日本/130分)

埼玉会館上映会 6月



前売りチケット発売情報(～2011.5.15)

DANCE

日本昔ばなしのダンス

3才以上のお子さんから楽しんでいただけます

大人気シリーズ「日本昔ばなしのダンス」の新作上演決定！子どもも大人も、家族そろって劇場へ！

チケット発売日
一般：4月3日(日) メンバース：3月27日(日)

日時=7月30日(土) 31日(日) 各日開演13:00/16:00
会場=彩の国さいたま芸術劇場 小ホール
【モモタロウ】振付=近藤良平 出演=コンドルズ選抜メンバー
【わらしべ長者】振付=伊藤千枝 出演=珍しいキノコ舞踊団選抜メンバー
料金=全席指定
大人(高校生以上) 2,000円 子ども(3歳～中学生) 1,000円



2008年公演より「はなさかじいさん」©池上直哉

MUSIC

埼玉会館ファミリー・クラシック 夏休みオーケストラ!

3才以上のお子さんから楽しんでいただけます

チケット発売日
一般：4月9日(土) メンバース：4月2日(土)

詳細はP.16にて

PLAY

松竹大歌舞伎

熊谷の夏の風物詩、「松竹大歌舞伎」。今年も、歌舞伎界を代表する立役の中村吉右衛門と、若手花形の市川染五郎が出演!

チケット発売日
一般：5月8日(日) メンバース：5月6日(金)

日時=7月15日(金) 昼の部12:30 夜の部17:00
会場=熊谷会館 出演=中村吉右衛門 市川染五郎 ほか
演目=「梶原平三巻石切」「河内山」
料金=一般：特等席6,000円/一等席4,500円/二等席2,000円/おためし席1,000円
メンバース：特等席5,400円/一等席4,100円
※当日は熊谷駅・熊谷会館間の臨時バスを運行します。



MUSIC

いま 小菅 優の現在 Vol.3 ピアノ・リサイタル ピアノ・エトワール・シリーズ Vol.16 ダヴィッド・フレイ ピアノ・エトワール・シリーズ Vol.17 金子三勇士

「小菅 優の現在」最終回は、シリーズの軸に置かれたシューマンと、生誕200周年のリスト。ピアノ・エトワール・シリーズには、今をときめく男性ピアニストが登場!

チケット発売日(3回セット券)
一般：5月21日(土) メンバース：5月14日(土)

【小菅 優の現在 Vol.3】
10月15日(土) 開演15:00
シューマン：幻想小曲集 作品12 リスト：ヴェネツィアとナポリ ほか
【ピアノ・エトワール・シリーズVol.16 ダヴィッド・フレイ】
11月26日(土) 開演15:00
モーツァルト：幻想曲 ハ短調 KV 475
ベートーヴェン：ピアノ・ソナタ第21番「ヴァルトシュタイン」ほか
【ピアノ・エトワール・シリーズVol.17 金子三勇士】
2012年3月18日(日) 開演15:00
リスト：スペイン狂詩曲 バルトーク：ピアノ・ソナタ ほか

会場=彩の国さいたま芸術劇場 音楽ホール
3公演セット料金=正面席9,500円/バルコニー席8,000円/学生席(バルコニー席)3,500円
※セット券は財団ホームページでの取扱いがございませんので、あらかじめご了承ください。
メンバースの方は、チケットセンター(電話・窓口)・各会館窓口をご利用ください。
※1回券は順次発売いたします。



Photo: Stefan Janiche

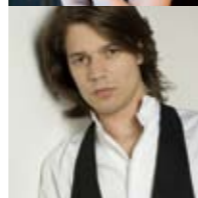


Photo: Suniyo Ito/Virgin Classics

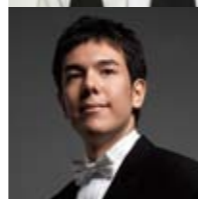


Photo: Kei Uesugi

発売中公演情報(2011.3.15～)

MUSIC

埼玉会館ランチタイム・コンサート 第14回 N響メンバーによる弦楽四重奏

日時=5月24日(火) 開演12:10(終演予定13:00)
会場=埼玉会館 大ホール
出演=クアルテット・リゾナンツァ 白井 篤(第1ヴァイオリン) 山口裕之(第2ヴァイオリン)
小野 聡(ヴィオラ) 山内俊輔(チェロ)
曲目=ボロディン：ノクターン ベートーヴェン：弦楽四重奏第6番 変ロ長調 作品18-6 ほか
料金=全席指定1,000円

【チケットの購入方法について】

【電話予約】チケットセンター

0570-064-939

10:00～19:00(休館日を除く) ※一部携帯電話、PHS、IP電話からは受付できません。

MUSIC

熊谷会館ファミリー・コンサート 音楽の絵本

詳細はP.16にて

MUSIC

NHK交響楽団

バプロ・ヘラス=カサド(指揮) 神尾真由子(ヴァイオリン)
詳細はP.15にて ※予定枚数終了いたしました。

公演詳細は、財団ホームページ
<http://www.saf.or.jp>にて

【窓口販売】※休館日を除く
・彩の国さいたま芸術劇場 10:00～19:00
・埼玉会館 10:00～19:00 ・熊谷会館 10:00～17:00

【SAF Online Ticket】
一般発売初日10時より受付開始し、公演前日23:59まで受付いたします。
・財団ホームページ <http://www.saf.or.jp>
・携帯サイト <http://www.saf.or.jp/mobile/>
※利用登録が必要です(無料)。



THEATER BRIDGE

Information

さいたまネクスト・シアター『美しきものの伝説』が 第18回読売演劇大賞優秀作品賞を受賞!



第18回読売演劇大賞が発表され、『美しきものの伝説』が優秀作品賞を受賞、蛭川幸雄芸術監督が最優秀演出家賞を受賞いたしました。4度目となる最優秀演出家賞は、「ヘンリー六世」及び『美しきものの伝説』の演出を評価されたものです。2月、都内で行われた贈賞式で蛭川芸術監督は「ラグビーは、ゴールに向かって走るけれどパスは後ろにまわす。受け取った人は前に進みながら後ろにパスをまわしていく。自分も、一緒に走りながら後ろにパスをまわし続ける演出家であり続けたい」と語り、さいたまネクスト・シアターのメンバー一同とともに出席。贈賞式後、蛭川芸術監督を囲み記念撮影が行われました。

Information

施設利用休止のお知らせ

彩の国さいたま芸術劇場では、皆様に安心して安全に施設をご利用いただくため、施設等の改修が行われます。このため、下記の期間、施設のご利用を休止させていただきます。ご不便をおかけしますが、何とぞご理解くださいますようお願い申し上げます。

- ・大ホール、小ホール 7月31日(日)まで
- ・音楽ホール、映像ホール 7月14日(木)まで
- ・稽古場・練習室、舞台芸術資料室 6月30日(木)まで
- ※改修期間等に変更が生じた場合は、財団ホームページ等でお知らせいたします。

【問合せ先】彩の国さいたま芸術劇場 管理課施設担当 Tel.048-858-5508

Information

オルガンをまるごと体験! ～みんなのオルガン講座～

普段あまり馴染みのないパイプオルガンという楽器。彩の国さいたま芸術劇場では、劇場所有のポジティブ・オルガンを使って、皆様にパイプオルガンに親しんでいただける講座を2006年より開始しました。オルガンのしくみや歴史についてのお話を聞くレクチャーや、レッスンを通して演奏を学ぶコースがございます。ジワジワとパイプオルガンのファンを増やしているこの人気講座は、2011年度もちろん開催! ふるってご応募ください!



Photo: 加藤英弘

【開催スケジュール】
レクチャー：7月18日(月・祝)
レッスン：8月7日(日)、9月11日(日)、10月30日(日)、11月23日(水・祝、発表会)
※各レッスンの間に練習日を別途設定いたします。
【会場】彩の国さいたま芸術劇場内練習室など(発表会は劇場内1F情報プラザにて開催)
【受講料】レクチャー：500円
レッスン：ソロ・クラス(受講1年目) 実技審査受験料500円、受講料8,500円(テキスト代別)

※ソロ・クラス受講希望者には、7月18日に実技審査を受けていただきます。8月7日以降、受講いただけるかどうかは、7月中にお知らせいたします。
※応募詳細は、(財)埼玉芸術文化振興財団 事業部 音楽担当048-858-5506までお問い合わせいただくか、財団HP <http://www.saf.or.jp> をご覧ください。

Information

ダンス界の革命家、ジェローム・ベルの歴史的傑作 『ザ・ショー・マスト・ゴー・オン』 日本版キャスト大募集!(P.9にて公演関連記事を掲載)

彩の国さいたま芸術劇場とフェスティバル/トーキョー11の共同主催で上演される、ジェローム・ベルの『The Show Must Go On』。今年11月の日本バージョン上演にあたって、この作品の出演者を募集いたします! 舞台経験は不問。演出家の意向として、年齢、国籍、ルックスも多様な方々のご参加を希望しています。世界の劇場・フェスティバルからひっぱりだこのダンス界の革命家、ジェローム・ベルの代表作に出演できる、またとないチャンスです!

【稽古・本番日程(予定)】10月31日(月)～11月11日(金) リハーサル
11月12日(土)、13日(日) 本番
【稽古・本番会場】彩の国さいたま芸術劇場(本番会場：大ホール)
【応募締切】3月31日(木)当日消印有効(webエントリーフォームあり)
※応募詳細は、財団HP <http://www.saf.or.jp> をご覧ください。
【問合せ先】フェスティバル/トーキョー実行委員会
事務局(担当：植松) 03-5961-5202

ACCESS MAP アクセスマップ

彩の国さいたま芸術劇場



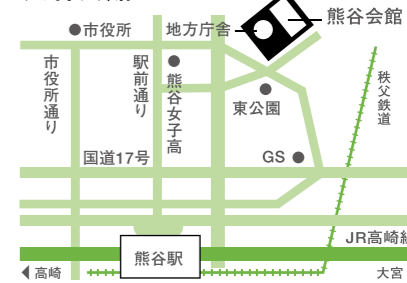
〒338-8506 埼玉県さいたま市中央区上峰3-15-1
電話：048-858-5500(代) ファックス：048-858-5515
電車でのアクセス JR 埼京線と野本町駅(西口) 下車 徒歩7分
バスでのアクセス JR 北浦和駅から西武バス大久保行き「彩の国さいたま芸術劇場入口」下車 徒歩2分

埼玉会館



〒330-8518 埼玉県さいたま市浦和区高砂3-1-4
電話：048-829-2471(代) ファックス：048-829-2477
電車でのアクセス JR 京浜東北線浦和駅(西口) 下車 徒歩6分

熊谷会館



〒360-0031 埼玉県熊谷市末広3-9-2
電話：048-523-2535(代) ファックス：048-523-2536
電車でのアクセス JR 高崎線熊谷駅(北口) 下車 徒歩15分

※駐車台数に限りがありますので、ご来場の際はなるべく公共交通機関をご利用ください。

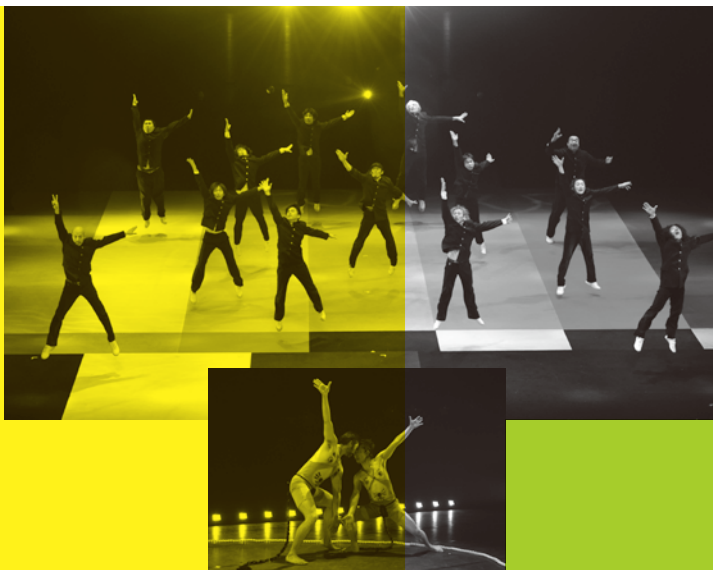
■サポーター会員

(財) 埼玉県芸術文化振興財団は、演劇、ダンス、音楽を中心に、この劇場でしか見られない最高の作品を提供できるよう、蛭川幸雄芸術監督のもと、作品づくりに努めています。こうした財団の活動にご理解、ご支援をいただいているのが(財) 埼玉県芸術文化振興財団サポーター会員の皆様方です。

(株) 与野フードセンター / (株) 亀屋 / 武州ガス(株) / (株) 松本商会 / (有) 香山壽夫建築研究所 / 埼玉新聞社 / (株) テレビ埼玉ミュージック / 埼玉りそな銀行
(株) パシフィックアートセンター / (株) アサヒコミュニケーションズ / FM NACK5 / 東京電力(株) 埼玉支店 / 東京ガス(株) / カヤバシステム マシナリー(株) / (株) タムロン
(株) 十万石ふくさや / 森平舞台機構(株) / 日本データコム(株) / 東芝ライテック(株) / 埼玉トヨタ自動車(株) / (有) 齋賀設計工務 / ゲレツ・ジャパン・スズゼン(株)
武蔵野銀行 / 浦和ロイヤルパインズホテル / (株) アルビーノ / 国際照明(株) / (株) サイサン 会長 川本直彦 / 三国コカ・コーラボトリング(株) / 埼玉スバル自動車(株)
桶本興業(株) / (株) 佐伯紙工所 / (株) 太陽商工 / (株) しまむら / アイジャパン(株) / (有) 六辻ゴルフセンター / 不動開発(株) / ビストロ やま / 埼玉縣信用金庫
(株) 栗原運輸 / 彩の国SPグループ / (有) プラネッツ / 関東自動車(株) / (株) クマクラ / (株) デサン / (株) 中島運輸 / セントラル自動車技研(株) / (株) アズマン
丸美屋食品工業(株) / ポラスグループ / ひがし歯科 / (株) 日産サテオ埼玉 / 埼玉トヨペット(株) / 公認会計士 宮原敏夫事務所 / (株) 価値総合研究所 / (株) 埼玉交通
医療法人 顕正会 蓮田病院 / (株) ウイズネット / サイデン化学(株) / アイル・コーポレーション(株) / 五光印刷(株) / 旭ビル管理(株) / ヤマハサウンドシステム(株)
(株) エヌテックサービス / (株) クリーン工房 / (株) つばめタクシー / (株) サンワックス / (株) 綜合舞台 / (株) タクトコーポレーション / 広総業(株) / (財) さいたま住宅検査センター
(株) コマーム / 相川 宗一 / (株) 国大セミナー / (株) NEWSエンターテインメント / (株) オーガス / イープラス

H23.2.15現在 / 一部未掲載

【問合せ先】 (財) 埼玉県芸術文化振興財団 営業宣伝課 サポーター会員担当 TEL 048-858-5507



DANCE

Dancing Japanese Old Tales
Jérôme Bel - The Show Must Go On
Jan Fabre - Prometheus Landscape II
Condors New Work Saitama 2012



MUSIC

NHK Symphony Orchestra
Makoto Ozone at Present Vol.2
Yu Kosuge at Present Vol.3
Calefax Reed Quintet
Piano Étoile Series Vol.16 David Fray
Dialog with Bach Vol.1-2 Tsuyoshi Tsutsumi
Bach Collegium Japan
New Japan Philharmonic
Dialog with Bach Vol.3-4 Ryo Terakado
Dialog with Bach Vol.5 Michie Koyama
Piano Étoile Series Vol.17 Miyuji Kaneko
Family Concerts
(Saitama Arts Theater, Saitama Hall, Kumagaya Hall)
Saitama Hall Lunch Time Concerts